

BORDERLESS IR CO., LTD

ANNOUNCES NEWSLETTER

株式会社ダイキアクス(4245 東証1部)
2020年12月期第1四半期決算概要概要

2020年6月9日東京

「2020年12月期第1四半期は営業利益、経常利益とも増益。

再生可能エネルギー関連事業に関するグリーンボンドを発行。」

決算概要

○同社グループを取り巻く経営環境は、国内外ともに新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の急速な拡がりによる経済活動の停止等により、第1四半期連結会計期間末にかけて急速に悪化した。また営業活動の自粛等により受注が先延ばしとなる等の影響が懸念され、2020年12月期の連結業績予想については「未定」としている。

○2019年度から2021年度は中期経営計画「Make FOUNDATION Plan(ESG経営の推進)」に挑戦し、各事業セグメントとも将来の収益性の向上に重点を置いている。環境機器関連事業セグメントにおいては、海外における事業展開の推進、ストックビジネスとしてのメンテナンス事業及び上水エスコ事業の営業強化、住宅機器関連事業セグメントにおいては、ECビジネスを開始する等、安定事業から成長事業へ転化、再生可能エネルギー関連事業においては、循環型社会の実現と安定収益確保の強化を実施している。

○第1四半期連結累計期間における売上高は95億93百万円(前年同期比-1.6%)とほぼ前年同期並みだが、全般的な利益改善を進めた結果、売上総利益は20億42百万円(前年同期比+5.1%)、営業利益は5億2百万円(前年同期比+6.8%)、経常利益は5億43百万円(前年同期比+5.8%)となった。特別損失の計上や連結子会社の株式会社シルフィードにおける種類株式への年4.8%の優先配当を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億80百万円(前年同期比-7.1%)となった。

○環境機器関連事業は、浄化槽・排水処理システムが前年同期比減少。前年同期は国内売上高では、大型案件の工事進行基準適用により一定程度の売上高を計上していたが、当期はそれに見合う売上高がなく、海外売上高も案件が延期となった。ストックビジネスとしてのメンテナンス事業及び上水事業エスコ収入については前年同期と比べ堅調に推移した。結果、環境機器関連事業の売上高は50億42百万円(前年同期比-11.0%)、セグメント利益(営業利益)は、5億円(前年同期比-10.0%)となった。

○住宅機器関連事業は、増収増益となった。建設関連業者等売上は、関連するサプライヤーの部品生産拠点が中国国内に多く、商品の入荷遅延があったが、代替商品への切り替えや一部商材

の取り換え需要が発生したこと等により、前年同期と比べ堅調に推移した。住機部門工事は前期と比べ中大型案件が少なかったものの、前年9月に連結子会社となった株式会社富士原冷機の売上取込があり、前年同期と比べ堅調に推移した。ホームセンターリテール商材は既存店への販売が減少、ECビジネスにおいては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、エンドユーザーへの現地調査等の営業活動が停滞した。結果、住宅機器関連事業の売上高は39億85百万円(前年同期比+13.1%)、セグメント利益(営業利益)は、1億23百万円(前年同期比+37.5%)となった。

○再生可能エネルギー関連事業は、順次売電を開始し前年同期より大幅増。その他、バイオディーゼル燃料事業及び小型風力発電機関連事業は、前年同期と比べ減少した。結果、再生可能エネルギー関連事業の売上高は、1億64百万円(前年同期比+43.4%)、セグメント利益(営業利益)は、30百万円(前年同期比+33.1%)となった。

○その他の事業は、土木工事業において、当期は大型案件の完成があったが、工事進行基準により売上の大部分を前連結会計年度末までに計上、それに見合う大型案件の工事進捗率が僅少のため、前年同期と比べ減少。家庭用飲料水事業は、前年同期と比べ堅調に推移した。この結果、その他の事業は売上高4億円(前年同期比-9.5%)、セグメント利益(営業利益)は62百万円(前年同期比+103.1%)となった。

○なお、同社は太陽光発電に係る売電事業及び小型風力発電事業に係る設備投資を資金使途としたグリーンボンド(適格機関投資家限定の無担保社債)を発行した。

株式会社ダイキアクシス(4245 東証1部)(<http://www.daiki-axis.com/index.html>)

2020年12月期第1四半期決算短信については、こちらをご参照ください。

→ <http://www.daiki-axis.com/ir/info/index.html>

リリースの免責事項

本リリースは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

リリースに関する照会先

Borderless IR 株式会社 <http://b-ir.co.jp/japanese/main.php>

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 6F

TEL 03-4588-6706 担当:福田 徹

お問い合わせ <http://b-ir.co.jp/japanese/contact.php>

Borderless IR は、国内・海外向けIR情報配信専門の会社です。国内・世界有数のメディア、企業情報データベース、メーリングリスト等を通じ、海外投資家にダイレクトに企業の最新情報と本質的な強みを主としてニューズレターとアナリストレポートで配信しています。その他、海外IR支援全般を手掛けているプロフェッショナル企業です。

©Borderless IR Co., Ltd. All rights Reserved

本リリースに掲載された内容を許可なく複製、転載することを禁じます。